

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		科学館事業の運営			款	7	項	1	目	3	事業	10	整理番号	479		
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	科学館			連絡先電話番号	3396-4391		昨年度整理番号	476			
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	44	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		区内在住・在勤・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体、区立小・中学校教員			内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 理科教育振興法第1条 (2) 杉並区立科学館条例				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○学校教育支援事業を通して、児童・生徒・教員が科学についての知識、理解を深める。 ○生涯学習支援事業を通して、児童・生徒を含む区民が科学に関する興味、関心を高める。			活動指標名(式)		(1) 年間延べ利用者数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○児童・生徒・教員を対象に、理科移動教室、科学教室、科学創意工夫展等の学校教育支援事業を行う。 ○区民を対象に、区民科学教室、天文の夕べ、サイエンス・ウィーク等の生涯学習支援事業を行う。 ○友好都市「名寄市(天文台きたすばる)」との交流事業を行う。 ○区立図書館との連携事業を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
		成果指標名(1)		1日あたり平均利用者数		算定式・指標の説明等		利用者数÷開館日数								
		成果指標名(2)				算定式・指標の説明等										
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	人	32,116	33,722	36,831	32,363	33,095	33,100	102.3					
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3	人	109	115	125	110	113	112	102.7					
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	28,384	36,702	34,124	38,793	31,049	28,998	25年度予算執行率(%)		80.0			
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	1,628	0	0	0	特記事項 予算執行残は、区立施設再編整備計画を見据えたプラネタリウム番組制作委託の未執行、インターネット機器移設委託費の一部執行残、機器の保守点検業務委託が不要になったこと等によるものです。					
	(内)委託費		7	千円	4,690	5,250	5,193	8,309	1,817	2,133						
	職員数	常勤職員数		8	人	4.41	4.20	4.58	4.20	4.51						4.20
		再任用職員数		9	人	16.00	0.00	1.48	1.30	1.50						1.30
		非常勤職員数		10	人		17.30	16.00	16.00	15.68						14.61
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	39,249	36,540	39,846	36,246	38,921						36,246
		(内)再任用職員分		12	千円	49,280	0	5,816	5,018	5,790						5,018
		(内)非常勤職員分		13	千円		47,575	44,000	44,480	43,590						40,616
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	116,913	120,817	123,786	124,537	119,350	110,878						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	3,640	3,583	3,317	3,848	3,606	3,350						
	財源	受益者負担分		16	千円	155	91	121	91	198						91
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0						0
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	500	0	495	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	655	91	616	91	198	91							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	116,258	120,726	123,170	124,446	119,152	110,787							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 479

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		理科移動教室運営	19,260	人	20,489
		科学教室開催	8,387	人	4,835
		科学創意工夫展開催	2,765	人	513
		科学教育調査研究	169	人	179
		その他(名寄市交流事業、理科指導者研修、施設利用その他2,514人)			
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	小・中学生や教員対象の学校教育支援事業は科学館事業の年間利用者の73.5%を占め、特に理科移動教室は、4月、8月、3月を除き、ほぼ毎日実施しました。生涯学習支援事業については、区民科学教室、サイエンスウィーク、プラネタリウム投映等の事業を実施しました。また、交流事業として友好都市「名寄市(天文台きたすばる)」「杉並区(科学館)」と「国立天文台ハワイ観測所(すばる望遠鏡)」をインターネットで結び、三元中継講演会等を実施するほか、新たに区立図書館との連携事業に取り組みました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和44年に科学教育センターとして開設し、区内の学校における科学教育の振興と充実を図るとともに、区民の科学的教養の普及・向上に努めてきました。平成14年に区民の科学に関する興味・関心にも応える生涯学習支援施設としての機能を強化するため、施設名も科学館と改め、区民向けの事業の充実を図りました。また、平成24年度に生涯学習推進課科学館として改めて位置付け、区民の生涯学習の推進に取り組んできました。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	プラネタリウムを常時投映し、子ども向けの内容も組み入れてほしいとの要望があります。展示コーナーについては「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」の常設展示がありますが、それ以外にも新たな展示物を望む声があります。		
	今後の予測	学習指導要領の改訂や週5日制の見直しなどにより、教育現場の状況は変化しています。また、自然災害への備えやエネルギー政策に関する区民の関心も高まっています。これらの要望に合わせ、事業の編成を行う必要があります。		
評価と課題	学校教育支援事業では、学校では指導が難しいものや、科学館の施設・設備を使った方がより効果的な授業を実施してきました。今後も、学校からの要望や学習指導要領の改訂に合わせて内容の充実を図る必要があります。 また、生涯学習支援事業は、新たな事業を企画・実施し、月例化を行うなど、来館者の増や活性化に努めてきました。今後は、自然災害や原発、放射線やエネルギーなど今日的な課題や、区民ニーズを的確に把握した事業運営が求められていくと思われれます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input checked="" type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	開設後45年を経過し、館内の展示物やプラネタリウム設備等が時代にそぐわなくなってきました。特にプラネタリウム設備は機器の入れ替えに多額の経費を必要とするため、近年のデジタル化の流れに取り残されている現状です。また、施設の老朽化が著しく、バリアフリー化や施設の維持管理にも限界があることから杉並区施設再編整備計画の策定により、今後は、学校教育部門(児童・生徒のための事業は済美教育センターへ移転し、理科室支援機能を集中させることで、科学館が担ってきた学校支援機能を充実します。また、生涯学習部門(区民のための事業)は、科学教育の充実にとどまらず、広く区民の生涯学習の推進に寄与できるよう、デジタル技術等を活用した事業展開を図るほか、近隣自治体との連携も視野に入れ、拠点等について多面的に検討します。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 489

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		光熱水費			8,579
		施設保守管理委託			20,864
		施設整備経費			1,267
		維持管理経費			783
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	開設から45年が経過し、耐震改修は平成11年に実施済ですが建物の老朽化が顕著になっています。平成25年度は、物理・地学準備室外2か所ドアチェック交換修理、講堂入口照明器具増設配線修理、講堂ステージ階段転落防止フタ取り付け等を行い、施設の維持管理や安全確保に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	施設・設備については日常的に点検を実施し速やかな対応を行うことにより良好な状態を維持してきましたが、老朽化が進み、気象観測装置は周辺機器が故障し部品がないため、平成23年度中に保守点検を解除して、現在、欠測中です。また、エレベーターの設置などバリアフリーへの要望に対しては、現在の建築基準法上応えられない状況にあります。安全で快適に利用していただき、事業を円滑に実施していくため、引き続き施設・設備の保全に努めていく必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		社会教育委員			款	7	項	5	目	1	事業	1	整理番号	517	
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	518		
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象				内部管理		根拠法令等		(1) 社会教育法第15条～18条						
					施設維持管理		(2)		杉並区社会教育委員の設置に関する条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○社会教育団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。		活動指標名(式)		(1) 会議開催回数		(2) 延べ会議出席委員数						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○学校教育関係者、公募による区民、学識経験者合計9名以内で構成し(任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		(代)NPO法人認証団体数					
				算定式・指標の説明等		「社会教育の推進を図る活動」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動」の分野に関わるNPO法人認証団体数		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等					
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)		1	回	7	12	6	12	7	12	58.3				
	活動指標(2)		2	人	47	84	40	108	47	108	43.5				
	成果指標(1)		3	団体	302	300	317	325	318	320	97.8				
	成果指標(2)		4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	894	1,534	825	1,559	999	1,824	25年度予算執行率(%)		64.1		
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0					特記事項 ○予算執行残は、以下のような理由によるものです。 ・会議の開催にあたり、各社会教育関係施設の実態把握を兼ねましたので、当初計画よりも少ない開催回数にとどまりました。			
	(内)委託費		7	千円	279	373	222	377	276	387					
	職員数	常勤職員数		8	人	0.72	0.70	0.80	0.80	0.92	0.90				
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人		0.00	0.00	0.00	0.08	0.10				
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	6,408	6,090	6,960	6,904	7,940	7,767				
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0				
		(内)非常勤職員分		13	千円		0	0	0	222	278				
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	7,302	7,624	7,785	8,463	9,161	9,869					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,043,143	635,333	1,297,500	705,250	1,308,714	822,417					
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	7,302	7,624	7,785	8,463	9,161	9,869						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 517

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		社会教育委員の会議 開催回数	7	人	690
		社会教育委員の会議 会議録作成委託	11	時間	259
		通信費、事務費			34
		その他(託児世話人謝礼)			16
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	<p>○今期の会議実施においても、託児の用意などにより多様な立場の方が参加できるようにしました。</p> <p>○会議は、可能な範囲で平成25年度の会議を生涯学習推進課が所管する施設等を会場に行い、各施設実態の把握に努めました。また、社会教育関係団体との意見交換を行い、全区的な活動団体の状況把握にも努めました。</p> <p>○区の重要案件である「杉並区区立施設再編整備計画(第一期)(素案)概要版」及び「使用料等の見直し(素案)～概要版～」について所管課長が説明し、社会教育委員の立場からそれぞれご意見をいただきました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>社会教育委員の会議は、平成2年度に制度を発足以来、13期目を終わりました。これまで区民の生涯学習環境の整備や、社会教育関係団体等の活動支援など、区の社会教育行政に対して提言や答申を行ったり、新たな教育ビジョン・同推進計画等における社会教育分野での取り組みに一定の方向性を示してきました。なお、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴い、杉並区社会教育委員の委嘱の基準等を定める必要が生じたため、杉並区社会教育委員の設置に関する条例の一部改正を行いました。</p> <p>社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104→H26.3.31 318</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>区民の学習や活動に関わる関連部局との関係性や多様な取り組みが区民にひろがりつつあるにもかかわらず、社会教育に対する認知度や関心が高まらない状況のため、社会教育委員制度を活かし、役割や提言等への取り組みなどを広く区民に情報提供することが望まれています。</p>
	今後の予測	<p>少子高齢社会の中で地域活動への参加と協働を進めるため、各社会教育施設や生涯学習・社会教育分野の取り組みへの期待が高まっています。区の施設以外にある様々な場や機会を通じて区民の自主活動や社会参加への意欲や関心を高めたり、それぞれが学びの成果を活かし、自立した地域づくりにつなげていくことなどが求められています。</p>
評価と課題	<p>社会教育委員は、各社会教育施設や区の生涯学習・社会教育分野の取り組みを調査・審議対象の中心にしていますが、活動の掘り起こしや自発的なネットワークづくりが促進されるような教育環境・条件整備を進めるため、団体の担い手や活動者への働きかけをやの実態に即した助言をいただくなど、豊かな地域づくりの実現に活かしていく必要があります。</p>	

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
<p>社会教育センター、科学館、郷土博物館、図書館など区社会教育関係施設等においては、それぞれの専門性を活かした特徴的な事業を行っていますが、幅広い区民が対象であるため周知が行き届かないなど、社会教育に関する問題や課題として共通する部分も少なくありません。このため、社会教育関係施設等連絡会議のもとで連携による社会教育の可視化に努め、区の社会教育に関する地域や区民の課題を把握し、社会教育委員の会議で調査研究に着手するなど、より実効性の高い内容の意見提出に結びつけていきます。</p>			

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		生涯学習振興室の維持運営		款	7	項	5	目	1	事業	2	整理番号	518
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	519	
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	7	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		区民一般		内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 学校教育法137条 (2) 杉並区立学校の開放に関する規則		
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民及び団体等に小学校の余裕教室を有効活用した生涯学習振興室(ゆうゆうハウス)を設置することにより、生涯学習と社会教育活動の場を提供する。		活動指標名(式)		(1) 会議室利用回数 (2) 個人学習室利用者数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習振興室(愛称:ゆうゆうハウス)2箇所の運営 ○対象:個人及び団体 ○生涯学習の場として個人学習室を、社会教育活動の場として会議室を設置 ・西田:個人学習室1室(42席)、会議室2室 ・杉九:個人学習室1室(36席)、会議室3室(分割使用) 		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		会議室利用率							
				算定式・指標の説明等		会議室利用回数÷貸出コマ数							
				成果指標名(2)		(代)個人学習室利用率							
				算定式・指標の説明等		個人学習室利用者数÷個人学習室席数							
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	1	回	1,128	1,600	1,032	1,600	1,022	1,600	63.9			
	活動指標(2)	2	人	18,593	26,300	20,607	26,300	19,208	26,300	73.0			
	成果指標(1)	3	%	26	30	22	30	21	30	70.0			
	成果指標(2)	4	%	71	80	79	80	74	80	92.5			
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	17,606	18,476	18,116	18,832	18,181	19,778	25年度予算執行率(%)	96.5		
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	7	千円	15,847	16,261	16,096	16,464	16,106	17,223				
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	0.20	0.10	0.10	0.21	0.20			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.14	0.20			
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	1,780	1,740	870	863	1,812	1,726			
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0			
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	389	556			
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	19,386	20,216	18,986	19,695	20,382	22,060				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	17,186	12,635	18,397	12,309	19,943	13,788				
	財源	受益者負担分	16	千円	34	36	27	36	14	36			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	34	36	27	36	14	36				
差引:一般財源(14-20)	21	千円	19,352	20,180	18,959	19,659	20,368	22,024					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 518

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託	16,126	時間	15,078
		光熱水費	2	所	1,286
		清掃業務委託	825.64	m ²	399
		電子複写機使用料	2	台	273
	その他(電話料、機器保守委託等維持管理費)				1,145
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	個人学習室・会議室等を備えた施設として区民の学習活動に利用されていますが、施設の老朽化に伴い、特に空調機の修繕費が増加しています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人学習室利用率 (西田:H11~13 90%超、H24 70.6%、H25 70.3%) (杉九:H11~13 100%超、H24 88.0%、H25 78.0%) 会議室利用率 (西田:H12~14 30%超、H24 18.3%、H25 17.7%) (杉九:H12~14 30%超、H24 24.3%、H25 23.7%)
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	他の地域における学習の場の設置、空調機の改善・パソコン等電子機器利用のための設備(電源・LAN他)を整備してほしいなどの要望が寄せられています。
	今後の予測	個人学習室の需要は今後も根強いものと思われませんが、区内2か所の設置のため全域の需要に応えられる状況ではありません。また余裕教室の活用という設置の趣旨に基づき、施設としてあり方を検討する必要があります。なお、会議室は、学校開放会議室としての活用を検討していきます。
評価と課題	個人学習室はここ数年70%台の利用率で推移しており、学校施設の有効利用や公共の学習スペースとしての目的を果たしています。しかしながら、児童数の変化及び施設再編計画など小学校を取り巻く環境は変化しており、施設のあり方について検討していく必要があります	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input checked="" type="radio"/> 対象の見直し
	設置時から現在まで、学校を取り巻く環境は変化しています。施設の在り方については、余裕教室の活用という当初の目的としているため、施設再編計画及び生涯学習の振興並びに青少年の居場所づくりの観点より今後検討していきます。		

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	社会教育の振興			款	7	項	5	目	1	事業	3	整理番号	519
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	管理係			連絡先電話番号	1662			昨年度整理番号	520
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	8	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標	施策	<input type="checkbox"/>	計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	社会教育活動を行う個人及び団体			内部管理				根拠法令等	(1) 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 (2) 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱			
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>○区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。</p> <p>○次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。</p>							活動指標名(式)	(1) 生涯学習指導者傷害保険加入指導者数 (2) 大学連携協働推進協議会等開催回数			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○教育委員会後援等名義使用承認による社会教育関係団体の活動支援</p> <p>○区と区内高等教育機関(明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・立教女学院短期大学・東京女子大学)との包括協定(H23年12月2日締結)に基づく連携協働の推進</p> <p>○生涯学習活動の指導者傷害保険への加入による団体指導者等への活動の支援</p> <p>○小学生名寄自然体験交流 小学5、6年生25名 北海道名寄市に派遣(2泊3日)</p>							成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標			
	成果指標名(1)	(代)指導者傷害保険加入団体会員数			算定式・指標の説明等								
	成果指標名(2)	(代)後援名義使用承認事業数			算定式・指標の説明等								
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	1	人	3,815	4,000	3,805	5,000	3,821	5,000	76.4			
	活動指標(2)	2	件	7	20	3	20	4	20	20.0			
	成果指標(1)	3	人	62,026	70,000	62,568	70,000	61,906	70,000	88.4			
	成果指標(2)	4	件	129	150	126	150	154	150	102.7			
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,029	7,968	5,339	6,051	4,441	6,099	25年度予算執行率(%)	73.4		
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 予算執行残は、業務委託落差金の発生及び実地踏査を簡素化したことによるものです。			
	(内)委託費	7	千円	24	3,349	2,871	2,655	2,016	2,673				
	職員数	常勤職員数	8	人	1.45	1.50	1.60	1.50	2.00		1.80		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00		
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.28		0.20		
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	12,905	13,050	13,920	12,945	17,260		15,534		
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0		
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	778		556		
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	14,934	21,018	19,259	18,996	22,479	22,189				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	3,915	5,255	5,061	3,799	5,883	4,438				
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	923	0	0	0				
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	923	0	0	0				
差引:一般財源(14-20)		21	千円	14,934	21,018	18,336	18,996	22,479	22,189				
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 519

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		小学生名寄自然体験交流(参加児童)	25	人	2,638
		生涯学習活動の指導者傷害保険対象者	3,821	人	1,264
		連携協議会開催	4	回	185
		通信費・管理事務費ほか			354
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	小学生名寄自然体験交流事業については、次世代育成基金を活用し、小学生25名を交流都市である名寄市に派遣して、豊かで厳しい自然と現地の小学生との交流を体験することにより、将来の夢に向かって健やかに成長できるよう支援しました。 区内6大学による連携協働事業として、区民向けの情報紙を創刊するとともに、すぎなみフェスタ2013の実施に協力しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	小学生名寄自然体験交流事業を平成24年度より開始 生涯学習活動の指導者傷害保険 契約人数(1日あたりの稼働人数)：H20:75団体3,894人 H21:79団体3,979人H22:74団体3,822人 H23:75団体3,815人、H24:74団体3,805人、H25:78団体3,821人。 後援等名義使用承認件数 H20 159件、H22:133件、H23:129件、H24:126件、H25:154件。 杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会開催延回数H20 17回、H22 13回、H23 7回、H24 3回、H25 4回。			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○児童の体験だけにとどまらず、体験をもとに他の子どもたちにも還元してもらえるように、学校の朝礼等で、その成果を発表する機会を設定することが求められます。 ○より多くの地域人材や多様な団体の活動を地域の中で活かすことが求められています。 ○区民が安全に安心して活動できる環境を整えるため、生涯学習活動以外の保険等の導入も求められており、必要とされる保険間の整合性を図る必要があります。 ○名義使用承認を要件とした広報紙掲載による団体活動の支援に、より簡易な方法が求められています。			
	今後の予測	○次世代育成基金の活用により、多くの子どもたちが将来の夢に向かって健やかに成長できる場がより多く創出されます。 ○区民や社会教育関係団体による自主的な社会教育活動が、区の様々な所管課の事務事業と関連しながら行われており、区全体の横断的な支援体制を確立することで、活動が一層活性化していきます。			
評価と課題	小学生名寄自然体験交流事業については、児童間の交流がさらに深まるように体験学習内容の充実を図っていきます。 傷害保険や後援名義事業については、地域の社会教育にかかわる活動内容も多様化していることから、区の様々な所管課との連携などにより安全に安心して活動できる環境を整えつつ支援に取り組む必要があります。 区内6大学による連携協働については、締結10周年を迎えるにあたり「マッチング機能」に特化するなど、連携事業のあり方について、連携協議会で検討していきます。さらに周年事業にも取り組みます。				

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し			
	○小学生名寄自然体験交流事業については、参加児童が貴重な体験や学習を通じて自らを成長させるのみならず、その成果を学校・家庭・地域に広げて行うという基本的考え方に基づき、事業を推進していきます。 ○今後、生涯学習社会の実現に向け、区民への効率的な情報提供のあり方や連携事業の実施に向けた検討を進め、社会教育関係施設間の連携を一層強化し、よりきめ細やかな社会教育関連情報の発信を目指します。 ○各大学が専門性を活かし、地域の資源としてさらにマッチングを図るための方策を、区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会において検討します。 ○教育委員会後援名義使用承認については、教育委員会内の統一的運用方法を検討する必要があります。今後、教育委員会内の担当部署との調整をすすめ、より合理的な方法で団体の活動を支援する方策を検討します。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		学校開放施設の団体・区民利用等			款	7	項	5	目	1	事業	4	整理番号	520
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	管理係(学校開放担当)			連絡先電話番号	1673		昨年度整理番号	521	
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業						
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		区内在住・在勤・在学者			内部管理		根拠法令等		(1) 社会教育法第44, 45, 47, 48条				
						施設維持管理		(2)		スポーツ振興法13条				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、学校施設を活用することで、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚及び区民の自主的活動を活発にする。			活動指標名(式)		(1) 遊びと憩いの場開放日数						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○区立小中学校施設を児童及び生徒が使用していない時間に、区民等に、スポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として提供する。 ○地域住民の交流のため、自主運営団体である利用者団体協議会が主体となって地域運動会、スポーツ大会及び公開講座等を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
					成果指標名(1)		遊びと憩いの場利用者数							
					算定式・指標の説明等									
					成果指標名(2)		利用者団体協議会行事実施数							
					算定式・指標の説明等									
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	人	5,574	6,000	5,452	6,000	5,077	5,500	84.6				
	活動指標(2)	2	人	18,471	20,000	18,887	20,000	18,409	19,000	92.0				
	成果指標(1)	3	人	160,564	180,000	158,561	170,000	144,257	150,000	84.9				
	成果指標(2)	4	回	40	57	57	60	54	60	90.0				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	90,826	98,999	91,030	100,507	94,939	99,175	25年度予算執行率(%)		94.5		
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	33,264	38,355	36,907	39,504	37,215	34,647					
	職員数	常勤職員数	8	人	3.15	3.00	3.18	3.00	3.23	2.00				
		再任用職員数	9	人	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00				
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	1.00				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	28,035	26,100	27,666	25,890	27,875	17,260				
		(内)再任用職員分	12	千円	6,160	0	0	0	0	3,860				
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0	2,780				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	125,021	125,099	118,696	126,397	122,814	123,075					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	22,429	20,850	21,771	21,066	24,190	22,377					
	財源	受益者負担分	16	千円	928	1,239	1,185	1,239	1,167	7,439				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	928	1,239	1,185	1,239	1,167	7,439					
差引:一般財源(14-20)	21	千円	124,093	123,860	117,511	125,158	121,647	115,636						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 520

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		学校開放指導員謝礼	41	校	24,839
		学校開放に伴う光熱水費			21,079
		プール開放運営委託費			23,348
		学校施設維持管理費			16,481
		その他(通信運搬費・医薬品ほか)			9,192
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	学校施設を活用して、区民に文化・スポーツ活動の場を提供するとともに、地域での連帯意識を醸成し、区民の自主的活動活性化を図りました。 平成26年第1回区議会定例会に「使用料等の見直し」関係条例案を提案、同年3月に議決・公布し、「杉並区立学校施設使用料条例」の一部も改正され、学校開放施設は、平成27年1月から1時間以内を単位として使用料が改定されます。その際、登録団体(児童・生徒等の団体は除く)に対する使用料無料の取扱いは廃止し、一般利用と同様に有料となります。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ほぼ現行の学校開放の形態となった昭和61年度と平成25年度との対比 「遊びと憩いの場」開放日数4,953日⇒5,077日 利用人員282,892名⇒144,257名 「団体開放」登録団体数415団体⇒752団体 利用人員307,493名⇒792,194名
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校支援本部の活動や中学校部活動活性化事業、土曜日授業の開始など学校使用の増加により、登録団体の利用時間が減少しているため、特に校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望があります。 また、高井戸第二小学校・新泉和泉地区小中一貫校の改築など校庭が利用出来ない工事が多いため、利用回数が減少することについて、代替え施設の紹介を要望されています。 近隣住民からは、利用者のかけ声・打球音等の騒音や喫煙、プライバシーの保護などの苦情が寄せられています。
	今後の予測	今後、生涯を通じた文化・スポーツ活動への要求はさらに大きくなっていくと思われまます。 また、東日本大震災以降、地域での連帯意識の醸成が重要視されてきています。 しかし、「杉並区立施設再編整備計画」で、高円寺地区小中一貫校、杉並第一小学校の改築や児童クラブの小学校内での実施、小学生の放課後等居場所事業の小学校内での実施が計画されており、「遊びと憩いの場」開放や団体開放においても、利用回数や利用時間がさらに減少していくと見込まれます。 特に「遊びと憩いの場」は、少子化のせいかな年々利用者が減少しており、他事業や少年団体利用との利用調整が必要になっていくものと思われまます。
評価と課題	年間延べ95万人超の区民が学校開放事業を活用しており、区民のスポーツ・文化活動の充実に貢献しています。 しかし、区立の小中学校は、今後30年間で築50年を経過する施設が50校を超え、次々に改築時期を迎えます。「杉並区立施設再編整備計画(第一期)」では、「今後改築する際は、学校の施設規模をスリム化するとともに、他施設との複合化・多機能化を進め、より一層、地域コミュニティの核となる施設づくりを進めます。」とされており、学校開放を休止、廃止する学校が増加します。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し			
	「使用料の見直し」に基づき、平成27年1月から有料化となる登録団体の使用料徴収事務等の新たな仕組みを構築し、利用者・学校等にも周知のうえ、使用料改定を実施し、適正な受益者負担を求めています。 また、長期的には「小学生の放課後等居場所事業の小学校内での本格実施」など、全区的な行政需要への対応という視点から、学校施設の有効な活用策を検討するため、関係各課との連携を強化していきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 521

25年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組	指定登録候補調査委託	4	件		370
	指定登録文化財保護奨励金	116	件		1,805
	文化財案内標示板等作成・修理	6	基		732
	埋蔵文化財調査委託	13	件		4,377
	その他(文化財保護審議会の運営、刊行物発行ほか)				5,233
(2)事業実績(協働、行革の取組があれば記入)	<p>平成25年度は、6月に永福南小学校から永福体育館埋蔵文化財取蔵庫の遺物の移転を行いました。また、保存庫にある出版物の在庫状況を考慮し、今年度出版予定の「紀要・年報、杉並区の指定文化財、条例施行30周年記念シンポジウムの記録等」の印刷物の発行を取り止め、その他の印刷物についても大幅に縮減しました。</p> <p>これら事業の予算は、埋蔵文化財の試掘の委託費用に流用し、職員の負担を軽減し、効率的な業務の執行を実現しました。</p> <p>その他、年間計画に基づく事業については着実に実施しました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	文化財シリーズの刊行や案内標示板の設置に加え、近年は毎年「杉並区史跡散歩地図」を刊行しています。また、今年度は平成24年度に発行した、「杉並の指定登録文化財」の平成24/25年度指定の追録を発行しました。また高齢化社会の到来で文化財散歩等を趣味にする区民が増加し、文化財に対する興味・関心の高まりにより、文化財部門に対する要望も多様化しています。一方、文化財保護指導員は高齢化が進み活動が年々縮小し、実質的に指導員として当初の役割を果たすことが困難になったため、これまでの活動経過を踏まえて、平成26年度は委嘱を行いませんでした。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、この事業への期待も高まっています。一方、興味・関心を寄せる人が特定の年齢層などに固定化している状況があり、それ以外の層の意見や要望の掘り起こしが必須であると考えられます。また、埋蔵文化財の整理・保存も重要な案件となっていますが、区民共有の財産としての出土物の活用を図ることが重要であると考えられます。区民要望が多様化する中で、係の専門職員が全員嘱託員で賅っていることから、区民の個別的要望に対応できる状況ではありません。
	今後の予測	区の行政実務及び区民サービスとの関係で文化財保護法第93条・第96条の業務をどのように位置づけしていくかが今後の課題です。(文化庁の目指す遺跡の保護・保存等や研究業務との共生の在り方)また、埋蔵文化財出土品や各資料の保管場所については、高井戸小学校の倉庫や永福体育館取蔵庫に分散していますが、搬出、搬入、整理等の管理が難しくなっています。同じ課題を抱える郷土博物館と連携し、文化財保存庫的な規模の大きな倉庫を考えるなど抜本的な方策が必要です。
評価と課題	<p>ボランティアの自主・自立を図りボランティア自身で考え、行動する新たな組織として世話人会を発足しました。今後この運営が軌道に乗るよう支援する必要があります。</p> <p>指定登録文化財の案件が枯渇し始めています。新たな調査により、区内に眠っている文化財の発掘が必要です。</p> <p>新しい時代に合った、文化財の保護・活用を図るため業務を見直し、行政サービスと専門性を組み合わせた業務方針作りが重要となっています。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input checked="" type="radio"/> 対象の見直し	
<p>文化財保護法、杉並区文化財保護条例及びその他関連分野の法規範との整合性を図りながら身の丈に合った事業構築により、杉並区の文化財行政の立ち位置を見直す必要があります。</p> <p>文化財行政については、これまで行政の効率性や区民福祉の観点からの視点が見落とされていました。杉並区が担う文化財行政は、より効率的で確実に区民サービスと融合していけるかを考えていく必要があります。</p> <p>埋蔵文化財出土品や各資料の保管場所については、近々に検討すべき課題です。一方、廃棄についても早急に検討が必要です。</p>						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		社会参加支援			款	7	項	5	目	1	事業	7	整理番号	523
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	524		
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	44	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象	①義務教育終了後の知的障害者②区内在住、在勤、在学の外国人③こころの問題等をかかえた青年			内部管理			根拠法令等	(1) 社会教育法第3条、第5条 (2) 杉並区済美日曜教室実施要綱、にほんご教室実施要綱、すぎなみしゃべり場実施要綱					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。			施設維持管理			活動指標名(式)	(1) 済美日曜教室延参加者数 (2) しゃべり場延参加者数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○済美日曜教室 通常講座、近郊へ出かける遠足等の課外講座を実施 ○にほんご教室 区内団体との共催で、年3期、各期レベル別に5コース設定し実施 ○青年期の社会適応力の向上 「すぎなみしゃべり場」(フリースペース)の開催や講座を開催			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)	済美日曜教室参加率					
				算定式・指標の説明等			成果指標名(2)	済美日曜教室延参加者数÷済美日曜教室延登録者数						
				算定式・指標の説明等			成果指標名(2)	しゃべり場1回あたりの参加者数						
				算定式・指標の説明等			算定式・指標の説明等	しゃべり場延参加者数÷実施回数						
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	人	746	900	765	900	852	900	94.7				
	活動指標(2)	2	人	278	300	206	300	348	300	116.0				
	成果指標(1)	3	%	59	70	56	70	63.8	70	91.1				
	成果指標(2)	4	人	6	10	5	10	7	10	74.0				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	4,728	8,241	6,507	7,891	6,993	8,759	25年度予算執行率(%) 88.6				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・予算執行残の理由は、①済美日曜教室の春の遠足及び夏の宿泊訪問先における障害者入園料免除制度定用等による課外活動使用料の残、②済美日曜教室運動会が台風のため中止になったことによるボランティア謝礼及び廃棄物手数料の残、③済美日曜教室通常講座のボランティア参加人員の実績による謝礼金の残、④にほんご教室の託児利用者減による分担金の残です。				
	(内)委託費	7	千円	502	1,407	1,299	1,587	1,521	2,267					
	職員数	常勤職員数	8	人	2.00	1.60	1.77	1.60	1.76					1.60
		再任用職員数	9	人	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00					0.00
		非常勤職員数	10	人		1.10	1.24	1.10	1.10					1.10
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	17,800	13,920	15,399	13,808	15,189					13,808
		(内)再任用職員分	12	千円	3,388	0	0	0	0					0
		(内)非常勤職員分	13	千円		3,025	3,410	3,058	3,058					3,058
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	25,916	25,186	25,316	24,757	25,240	25,625					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	34,740	27,984	33,093	27,508	29,624	28,472					
	財源	受益者負担分	16	千円	85	405	361	406	354					360
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	652	0	0					0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	85	405	1,013	406	354	360					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	25,831	24,781	24,303	24,351	24,886	25,265					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.3	1.6	1.4	1.6	1.4	1.4						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 523

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		済美日曜教室(通常講座12回、野外活動3回)	89	人	4,688
		にほんご教室	60	回	933
		青年期の社会適応力の向上(しゃべり場、親向け講座、意見交換会等)	47	回	1,372
		その他()			0

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	済美日曜教室は「青年学級振興法」のもと「済美青年学級」として昭和44年に開始されました。平成12年に根拠法令が廃止され、名称を変更し、知的障害者の学習・余暇事業として継続しています。「すぎなみしゃべり場」は、平成16年度に開始し、その後、「支援団体意見交換会」「家族向け・当事者向け講座」「不登校・中退者のための進路相談会」など事業の拡充を図ってきました。日本語教室は、開始後10年を経て、平成24年度から運営主体を講師を務める団体に移行し、共催事業として実施しています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	済美日曜教室では多くの参加者が休日も家族と過ごす割合が高く、日曜日に家族外の人と交流のできる事業への期待は大きなものとなっています。しゃべり場のアンケートでは、参加動機の上位に「友人を作りたい」、「緩やかに人と繋がりたい」、「コミュニケーション力を向上させたい」などが並び、必要性について62%が「大いに必要」、38%が「必要」と回答しています。社会参加を目指したいと思ひ、その準備がある程度整ったけれど、そこからもう一歩を進めないでいる若者の居場所として期待されていることがうかがえます。
	今後の予測	済美日曜教室は、一回当たりの出席者が参加者・ボランティア共に増えるなど事業へのニーズと区民理解が増していますが、参加者の高齢化に伴い、よりボランティアの質の向上などが必要になると考えられます。青年期の社会適応力の向上事業は、社会参加や就労などに困難を抱える若者が利用できる社会資源が増えていく中で、福祉、保健、雇用などの各分野との連携や社会教育センターの役割の整理などが必要になると考えられます。
評価と課題	済美日曜教室は、障害を持った方の休日の「豊かな人間形成の取組」(要綱第1条)への期待に応えて事業の充実を図ってきました。しかし一方で、経験・専門性のあるボランティアが減少し、事業運営面で安全性の確保などに課題が生じています。ひきこもり支援は、参加者が抱える複雑・繊細な課題に対応し、より専門的な支援を行なえる体制の構築が求められています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	済美日曜教室は、多様化する参加者のニーズに合わせたプログラムを検討します。また、安全で安心して参加できる講座のために、引き続きスタッフ研修を実施するとともに各回のボランティアミーティングを活用した情報共有、新規ボランティアの育成等を行なっていきます。「すぎなみしゃべり場」事業については、就労支援センター、保健・福祉関係分野との連携を進めるとともに、杉並区として若者支援を実施していく環境を検討していきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 524

25年度の事業実施状況	内 容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組	社会教育センター運営経費(消耗品、備品)				5,015
	社会教育事業推進組織委員等謝礼金				546
	社会教育事業推進組織運営事務費				387
	通信運搬費等(電話料金他)				353
	その他()				0
(2)事業実績(協働、行革の取組があれば記入)	社会教育事業推進委員会 定例会議開催(計12回) ※分科会の3つの活動として、①地域活性化をテーマに「車座トーク」を西荻窪で3回実施しました。②働く若い世代を対象に社会教育セミナーとして、「すぎなみキャリア塾」を4回開催しました。③文部科学省の「公民館等社会教育活性化プログラム」に応募し、高円寺地域区民センター協議会との協働で「減災・ふれあいウォークラリー」を実施しました。また、すぎなみフェスタでは、10年後の近所づきあいや防災活動などについての区民アンケートとヒアリングを実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	施設使用率 平均約60%(平成元年度～平成25年度) 区民意向調査における調査結果 「ボランティア活動経験」 平成21年度 23.2% → 平成25年度 22.7% 取り組んでいる社会活動参加状況のうち社会貢献・社会参加活動の割合 平成21年度 4.3% → 平成25年度 5.3% 新たな基本構想づくりに向けた区民アンケート(平成22年11月実施) 「協働の地域社会づくりについての考え方」 8割以上の区民が地域社会への参加意向			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	社会教育事業推進委員会において、区内全域からのより広く多様な住民の参加と、地域の特性に応じて活用できるような仕組みが求められています。このため、平成27年度からの社会教育事業の取組や方向性、活動主体・運営などの仕組みを検討していきます。			
	今後の予測	景気の低迷や東日本大震災の影響などにより、「豊かさ」の価値観が経済的なものだけでなく、「つながり」や「絆」といった人と人との関係性にも傾いていることから、区民の身近な地域づくりに対する参加・参画意欲がより高まることが予測されます。			
評価と課題	社会教育事業推進委員会については、平成22・23年度に委員の応募資格等の見直しを行った結果、平成24・25年度委員についても地域活動の実践者が委員になりました。その結果、平成25年度においては定例会での話し合いから、3つの分科会ごとに事業が立ち上がり、それぞれの委員活動が活発になりました。その一方で、定例会の役割りがやや希薄な状況にもなりました。今後はさらに、区民の地域づくりへの具体的な行動につなげる仕組みや働きかけにつながるあり方を検討していく必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
豊かな地域づくりのためには、区民一人ひとりがそれぞれの役割を見出し、地域や社会の課題や問題にあたる必要があります。地域の実情を踏まえて、区民の参画方策をより工夫していくことが求められます。こうしたことから、社会教育行政に留まらず、NPOやボランティア等で活躍する個人のネットワークや情報を活用しながら、幅広い議論と実践ができる活動をより一層推進していきます。また、これからの住民主体による地域活動に不可欠な学びを促進できる多様な「場」や「機会」に関わる「担い手(≒社会教育コーディネーター)」の支援づくりを区民とともにめざします。						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 525

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		大学公開講座共催分担金	6	団体	1,226
		杉並区総合文化祭分担金			4,000
		文化団体連合会補助金	1	団体	350
		ユネスコ活動分担金等	1	団体	778
		その他(社会教育活性化支援プログラムほか)			2,518
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	関係団体の活動の自主性を重んじ、活動を活性化させるために、各団体と共催して事業を実施しました。 文部科学省からの受託を契機に、社会教育活性化支援プログラム「減災・ふれあいウォークラリー」を高円寺地域区民センター協議会との協働で開催しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区総合文化祭は、当初4団体から発足、平成21年度以降平成24年度までは31団体、平成25年度は30団体 区内大学公開講座実施対象校数 昭和60年 4大学 → 平成5年度 5大学 → 平成13年度から区内の全大学(6大学)で実施 社会教育活性化支援プログラム「減災・ふれあいウォークラリー」平成25年度 実行委員会を立ち上げ、新たに考案したプログラムにより1事業試行		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	総合文化祭については、区民文化の日を設け、区民から多数の出演・出品がありました。 大学公開講座については、各大学とも特色のある講座を実施し、受講者からは好評でしたが、参加者の高齢化が目立っています。 ユネスコ事業のユネスコ運動の日は元ミャンマー大使による「ミャンマー情勢」の講演会開催、ユネスコのつどいは世界遺産関連講座、共に応募者が多く好評でした。昨年度より開始した文化講座も引き続き好評でした。		
	今後の予測	社会活動への参加状況については、趣味・娯楽活動、スポーツ活動、教養・学習活動の順になっており、これらの活動を担っている団体への期待は更に高まるものと予想されます。		
評価と課題	教育委員会だけでは実現できない、各団体の特色を活かした事業が実施され、参加者からも好評を得ています。 いずれも活動経験の長い団体であるため、団体の運営に安定がある一方、事業内容に変化が乏しい面が否めません。 社会教育活性化支援プログラムでは、この度の「減災・ふれあいウォークラリー」の取組をもとに、区民が自らの経験を活かして「減災リーダー」として育つ環境を醸成していくなど、新たな課題への検討にも着手する必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
既存の各団体へ区民の要望や他に地域で活動している団体、活動場所などを紹介することで、新しい事業の実施を促し、団体の活動を活発にしていきます。 社会教育活性化支援プログラムについては、平成25年度の取組を検証し、地域における社会教育活性化の一助となるよう、さらなる検討を地域住民とともに進め、他の地域でも同様の取組が広がるようにしていきます。						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		成人学習支援			款	7	項	5	目	1	事業	10	整理番号	526		
担当部課名		教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	527				
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		一般区民			内部管理		根拠法令等		(1) 社会教育法 第3条・第5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		多世代の地域参加を促進するとともに、自らの学びの成果を発信し、次代に伝えていく力を育みます。			活動指標名(式)		(1) すきなみ大人塾(月曜・土曜コース等)延べ参加者数 (2) 区民企画講座(CAMOプロジェクト)活動グループ数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○地域とのかかわりが薄い若者や、勤労者等を対象に地域の課題を自ら考える機会となる講座運営を行う。 ○地域社会の担い手を育む学習の場として、現代的課題の解決や、コーディネート力を培う高度な講座を開催する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 大人塾の年間講座出席率 算定式・指標の説明等 大人塾年間出席者実数÷年間大人塾参加者延べ数 成果指標名(2) 区民企画講座(CAMOプロジェクト)参加者数 算定式・指標の説明等 CAMOプロジェクト数÷CAMOプロジェクト登録者数								
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度		計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	人	829	1,200	740	1,200	883	1,200	73.6					
	活動指標(2)		2	団体	5	5	6	5	5	5	100.0					
	成果指標(1)		3	%	69	70	62	70	70	60	100.0					
	成果指標(2)		4	人	9	10	9	10	9.6	10	96.0					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	4,442	6,008	4,083	3,729	3,485	3,837	25年度予算執行率(%)		93.5			
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		7	千円	357	458	458	295	295	295						
	職員数	常勤職員数		8	人	2.40	3.10	3.43	2.10	2.31	2.10					
		再任用職員数		9	人	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数		10	人		2.10	2.37	1.60	1.60	1.60					
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	21,360	26,970	29,841	18,123	19,935	18,123					
		(内)再任用職員分		12	千円	4,928	0	0	0	0	0					
		(内)非常勤職員分		13	千円		5,775	6,518	4,448	4,448	4,448					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	30,730	38,753	40,442	26,300	27,868	26,408						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	37,069	32,294	54,651	21,917	31,561	22,007						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	30,730	38,753	40,442	26,300	27,868	26,408							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 526

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		すぎなみ大人塾	2	コース	2,868
		区民企画講座	5	講座	372
		社会教育セミナー	1	講座	245
		その他()			0
	(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	すぎなみ大人塾:2コース×2回(前期・後期)計4コース 年間延参加者 573名 大人塾まつり 参加者約450名 後期開講講演会 参加者 36名 協働推進課との共同事業開催 3回(講演会 2回、シンポジウム1回) 参加者 390名 活動記録集の発行 350部 区民企画講座CAMOプロジェクト:講座数5 企画運営会議 11回 企画運営委員7名 登録者数48名 地域活動アドバイザー2名 活動記録集の発行 1,000部 社会教育セミナー:「すぎなみキャリア塾」 応募者数 31名			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ボランティアの活動経験は、平成21年度の23.2%から平成25年度には22.7%と微増しています(区民意向調査結果)。また、平成22年11月に実施した新たな基本構想づくりに向けた区民アンケートでは、8割以上の区民が地域社会への参加意向を持っています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	参加者からは、「同世代でもそれぞれ意見や思いが異なり、それをまとめていく過程において学ぶところが多かった」「個人ではなく仲間と一緒にやり遂げられたからこそ見えてきたものがあつた」など、地域における他者との相互学習による学習方法が高く評価されています。
	今後の予測	東日本大震災以降、地域におけるつながりの必要性がより広く認識され、地域で行われる事業への関心はこれまで以上に強くなっていきます。この傾向は、国の第2期教育振興基本計画の答申でも、教育行政の基本的方向性の一つの「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」として示されています。

評価と課題	大人塾は、一年間を通じた高度な学習形態として、修了生の社会教育委員への就任などから問題意識の高まりが証左されています。出席率を高めていくためには、テーマや期間設定などを見直す必要性があります。大人塾まつりは、修了生のつながりと活動の発表の場として有効な手段ですが、一般の祭りの差別化を図るための工夫が必要です。また、今年度は、協働推進課との共同で講演会2回・シンポジウム1回を開催し、修了生など現在「地域活動」に取り組んでいる層に対し、さらに活動を発展していただけるような気づきやつながりを提供できました。来年度についても、内容や時期など検証しながら、継続して取り組んでいきたいです。 区民企画講座は、区民参画により現代的課題に対応する講座等の開催を通じて一定の役割を果たしてきましたが、平成25年度からは、若者世代に即した形態として「部活動」というグループ活動を中心に継続的な取組みを展開し、講座形式では捉えにくいニーズを活かした運営を行っています。その結果、地域とのかかわりが薄い若者が地域の中で自ら考え、自ら実践する会となっていますので、今後は講座という形式にこだわることなく、若者世代による社会教育活動への支援をしていくことが必要となっています。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
		大人塾は、事業開始後9年を経過したことから、引き続き改善を図っていきます。ただし、大人塾をはじめとする、自らの学びの成果を発信し次代に伝えていく力を育む取組は、具体的成果が目に見える形では直ぐには現れず、客観的評価を得られるまで時間がかかります。そのため、長期的視野のもと、地域単位の取組で成果につなげていくものでもあります。 ・コース設定について 引き続きコース数の検討や地域分散型講座の実施を検討します。それにより、区内各地域での受講生の裾野の拡大を図るとともに、地域課題発見色を鮮明にします。 ・修了生の活用について 大人塾を修了した550名以上の受講生を、自治会組織や地域運営協議会、商店街、学校などで、コーディネーターやファシリテーター的役割を持つ人材として、地域活用を図っていく方策を考えます。 区民企画講座は、区民企画講座実施要綱にもとづき、区民参画により現代的課題に対応する講座等の開催を通じて一定の役割を果たしてきましたが、27年度に向けて、新たなCAMOプロジェクトの取り組みや方向性、活動主体・運営などの仕組みを模索すべく検討していきます。				

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	郷土博物館の運営管理			款	7	項	5	目	1	事業	11	整理番号	527
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	528	
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象	博物館利用者			内部管理								
					施設維持管理	根拠法令等	(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究活動を行い、展示等各種事業を通じて、利用者に杉並の歴史文化を知ってもらうとともに、区民の杉並への理解と関心を深め愛着心を高める。				活動指標名(式) (1) 企画展・講座・教室等事業実施回数 (2) 収蔵資料総数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託 ○展示、子供博物館教室、講演会等各種行事の周知・実施 ○学校教育等への支援・連携 ○研究紀要・年報等の発行				成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 事業参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) アンケート結果 算定式・指標の説明等 満足を3、普通を2、不満を1とした平均点								
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	1	回	50	45	63	50	69	50	138.0			
	活動指標(2)	2	点	137,683	138,683	138,201	139,201	139,814	140,814	100.4			
	成果指標(1)	3	人	44,636	50,000	54,014	55,000	55,082	56,000	100.1			
	成果指標(2)	4	点	3	3	3	3	3	3	89.3			
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	10,936	18,164	14,169	13,422	11,637	15,282	25年度予算執行率(%) 86.7			
	(内)投資的経費等	6	千円	185	400	181	200	74	200	特記事項 予算執行残は、特別展示開催経費等の実績による残です。			
	(内)委託費	7	千円	2,776	4,762	4,503	3,260	3,185	4,058				
	職員数	常勤職員数	8	人	3.36	4.00	3.80	3.00	3.31	4.00			
		再任用職員数	9	人	13.00	0.00	2.02	2.00	2.03	2.00			
		非常勤職員数	10	人		14.00	12.00	12.00	12.00	12.00			
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	29,904	34,800	33,060	25,890	28,565	34,520			
		(内)再任用職員分	12	千円	40,040	0	7,939	7,720	7,836	7,720			
		(内)非常勤職員分	13	千円		38,500	33,000	33,360	33,360	33,360			
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	80,880	91,464	88,168	80,392	81,398	90,882				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,613,900	2,023,644	1,396,619	1,603,840	1,178,609	1,813,640				
	財源	受益者負担分	16	千円	1,515	1,471	1,298	1,471	1,471	1,472			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,515	1,471	1,298	1,471	1,471	1,472				
差引:一般財源(14-20)		21	千円	79,365	89,993	86,870	78,921	79,927	89,410				
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.9	1.6	1.5	1.8	1.8	1.6					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 527

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		特別展・企画展・講座・教室等の開催	69	回	2,492
		博物館事業の運営管理経費			8,643
		郷土博物館運営協議会の開催	4	回	502
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組があれば記入)

年中行事、分館の区民参加型展示等はNPOやボランティア等の参加・協力により実施しています。また、社会教育施設連携事業として、文化財係との夏の子ども博物館教室、科学館・文化財係との「杉並の地下はこうなっていた」等の新しい事業も開催しました。刊行物としては「炉辺閑話」(2回)、特別展示図録「甲州街道へのいざない」、分館企画展示図録「オキュパイドジャパンのおもちゃたち」等を発行しました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成19年4月郷土博物館分館開館 入館者数:平成元年度17,326人、平成2年度24,622人、平成10年度18,884人、平成15年度14,027人、平成20年度13,324人(本館)・12,740人(分館)、平成21年度13,155人(本館)・14,586人(分館)、平成22年度13,762人(本館)・11,460人(分館)、平成23年度14,380人(本館)・9,049人(分館)平成24年度13,931人(本館)・11,131人(分館)、平成25年度13,246人(本館)・12,011人(分館)
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	展示・講座等開催した各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けており、特に目立った要望・苦情等はありません。
	今後の予測	平成22年12月に策定した「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」の実現に向けて、より一層の区民参加・協働による活性化が求められます。
評価と課題	博物館の活性化に向けて「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」に掲げられている今後の取り組みについて、実現可能なものから随時実施し、より充実した博物館活動を実施してきました。昨年は運営協議会から提案された「杉並区立郷土博物館のリニューアルについて」を取り入れ、常設展示室更新の一步を踏み出しました。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し			
	「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」に掲げられている今後の取組み事項のうち、「常設展示の更新」については博物館運営協議会から具体的な提案(「郷土博物館のリニューアルについて」)がありました。それらの提案を受け、25・26年度は常設展示の更新を進めています。その他の事業についても、計画的な実施に向けた検討が必要です。また、サービスの質を確保しつつ、地域やNPOに委ねられる事業については協働を積極的に推進していきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 528

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		管理運営(指定管理者)	6	館	412,447
		図書館サービス業務委託	4	館	180,540
		図書館資料購入・装備	13	館	200,137
		図書館システム管理(図書サービスコーナー等含む)	16	施設	58,319
	その他(情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか)				62,024
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	地域大学でボランティア養成講座を開催し、図書館ボランティアの育成を行いました。学校の長期休業期間中には多目的室等を調べ学習室として提供しました。おはなし会や参加型ワークショップ等の行事を積極的に企画・実施したほか、「あかちゃんタイム」「あかちゃんおはなし会」を実施し、乳幼児とその保護者へのサービスを拡充しました。また、ヤングアダルト向け資料の充実をはじめ、中学生・高校生の手作り絵本も蔵書に加えました。このほか、指定管理・業務委託等による民間活力を活用した運営を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和25年に区立図書館を設置してから、現在は13館が整備され、このほかサービスコーナーやふれあい図書室など計17施設で図書館サービスを提供しています。また、平成17年度から民間活力を導入し、現在では、直営館、委託館、指定管理館と様々な運営形態となっています。このため、今後の運営方式について改めて考える時期を迎えています。サービス面では、19年度の利用者用インターネットパソコン設置、24年度の新図書館システム稼動など情報化の推進、地域の課題解決、区民の自立を支援するサービスの提供などを進めました。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	より充実した電子情報・電子書籍等の提供など情報化の進展による新たなサービス導入の要望や、駅前図書コーナーの充実など図書資料の貸出・返却の拠点となるような窓口に関する意見のほか、地域の課題解決・区民の自立支援に役立つ図書館としての資料の充実などについて要望が寄せられています。		
	今後の予測	地域の課題解決や区民の自立支援といった「生涯現役の地域社会を支える図書館」への期待が一層高まっています。今後はさらに、様々な区民が気軽に集い交流するとともに、各々の知識や経験をもとに、互いに連携・協力しあう交流空間としての役割が求められます。 区立小・中学校全校に学校司書が配置され、学校と図書館との連携による一層の読書活動の推進が期待されます。		
評価と課題	民間活力の導入により、効率的な運営が進むとともに、区だけでなく民間事業者の運営経験を取り入れるなど、多様な視点から、図書館サービスの充実を図りました。今後、さらなるサービスの充実や効率的運営に向け、情報化方針を策定し、その方針に基づいて取り組んでいきます。このほか、図書館ボランティアの充実に向け、地域大学講座や障害者朗読ボランティア講座を実施して、ボランティアの育成・獲得を進めることや、ボランティアへの継続的な支援策の実施や拡充にも取り組んでいきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他		
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し
	区立施設再編整備計画に基づき、高円寺地域の区立図書館のあり方や老朽化した図書館への対応を検討します。図書館に運営やサービスの充実については、今後の区立図書館の目指すべきサービスの方向性を示す「杉並区立図書館サービス基本方針」に沿って図書館サービスを提供していくとともに、「子ども読書活動推進計画」とも連携を図りながら事業を展開していきます。また、図書館における情報化方針に基づき、ICタグの導入による利用者サービスの拡大、電子書籍等の導入、地域資料のデジタルアーカイブ化などの課題にも対応していきます。これらの新たな計画や今後検討する課題へ取り組みに加え、区立施設再編整備計画などを踏まえて、「区民に役立つ図書館」にふさわしい運営形態を定めていきます。 このほか、ボランティアの育成や継続的な支援の促進を図るとともに、積極的に中学生・高校生の声を聴く機会を設け、中学生・高校生の気持ちに寄り添う図書館サービスを企画するなど、区民が互いに連携・協力しあう図書館の実現に努めていきます。				

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	社会教育センター維持管理			款	7	項	5	目	2	事業	1	整理番号	529		
担当部課名	教育委員会事務局生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712			昨年度整理番号	530		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/>	計画事業		<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	社会教育センター			内部管理		施設維持管理		1	根拠法令等	(1) 社会教育法第3条、第5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。							活動指標名(式)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○利用者に対し、社会教育の学習の場を提供すると同時に、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
	成果指標名(1)														
	算定式・指標の説明等														
	成果指標名(2)														
	算定式・指標の説明等														
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	回	5,684	8,664	5,088	8,664	5,378	8,664	62.1					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	60,955	60,785	60,270	68,022	64,116	71,053	25年度予算執行率(%)	94.3				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	4,791	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	43,321	43,336	42,932	48,493	45,291	47,073						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.90	0.80	0.88	0.80	0.88	0.80					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	8,010	6,960	7,656	6,904	7,594	6,904					
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	68,965	67,745	67,926	74,926	71,710	77,957						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	12,133	7,819	13,350	8,648	13,334	8,445						
	財源	受益者負担分	16	千円	27,776	28,967	28,337	27,993	24,553	28,301					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	27,776	28,967	28,337	27,993	24,553	28,301						
差引:一般財源(14-20)	21	千円	41,189	38,778	39,589	46,933	47,157	49,656							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	40.3	42.8	41.7	37.4	34.2	36.3							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 529

25 年度の 事業 実施 状況		内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		(1)主な取組	施設保守管理委託料		所	45,291
			光熱水費		所	14,550
			施設維持経費(修繕費、消耗品、使用料)			4,275
			その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	ホールの快適性を向上させるため、ホールの椅子の修理、座席表面の張替等を行いました。また樹木の根により、敷地内の舗装が波打っている個所があり、危険を知らせる看板の修理・設置を行うとともに、宮繕課が舗装を平面にする工事を実施しました。その他にも建物外壁の修理、天井亀裂の修繕等、老朽化した施設を安全に利用できるよう、適切な維持管理に努めています。					

事業 環境の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・ 要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	舞台照明設備については、現行の条例に違反するT型プラグや調光器設備の老朽化も指摘されています。電気の使用を伴うものは、漏電、発火、火災につながる危険性もあります。昇降機についても制御盤の老朽化や戸開走行保護装置の設備がないことなど、安全面からも施設全体に必要な対応が求められています。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
			<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 530

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	2	館	21,513
		光熱水費	2	館	8,199
		施設維持管理	2	館	11,320
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組があれば記入)

「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」に掲げられている今後の取組み事項のうち、「常設展の更新」について、第一年次として、今回の展示更新後も容易に展示更新が図られるように工夫した、常設展示室の壁面工事を実施しました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>本館及び分館等を適正に維持管理するため、職員による建物の保守管理及び不良個所の早期発見・早期対策に努めていますが、本館は開設以来25年が経過しているため、想定外の故障も発生します。また、本館に収蔵しきれない収蔵資料については、現在4つの学校の余裕教室を利用して収蔵していますが、学校施設の地域活用が拡充されることから、恒久的な収蔵スペースを確保するため、関係機関と協議していく必要があります。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 531

25年度の事業実施状況	内容	規模	事業費(千円)	
			単位	事業費(千円)
(1)主な取組	設備保守管理委託	7	館	74,802
	光熱水費	7	館	51,977
	施設修繕・消耗品等購入	7	館	7,354
	防犯カメラ設置工事	1	館	2,143
	その他(賃借料ほか)			4,143
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	0
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	0
	今後の予測	
評価と課題	<p>平成25年度は、トイレの洋式化や防犯カメラの設置を行い、安全で快適な利用環境の提供に努めました。また、毎年実施している利用者満足度調査結果では、昨年度同様、「清潔で、利用しやすいか」との質問に対して、満足、やや満足を合わせて93.0%と高い評価を得ています。</p> <p>今後は、施設再編整備計画の実施に伴う中央図書館改修に向けて、ICタグなどICTを活用したサービスや、デジタル資料の収集や提供など利用しやすい図書館となるよう検討していく必要があります。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
0						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		生涯スポーツ振興事業			款	7	項	6	目	1	事業	1	整理番号	532		
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	事業係			連絡先電話番号	1674	昨年度整理番号	533				
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	37	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	29	計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者			内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 社会教育法第3, 5条、スポーツ基本法第22条 (2) 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。			活動指標名(式)		(1) 各種生涯スポーツ事業回数 (2) 共催件数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○スポーツ推進委員: 公募により委嘱したスポーツ推進委員は、地域拠点活動、綱引き大会、キンボール交流大会、子どもの体力アップなどの事業を企画・実施する。 ○駅伝大会: 中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝を開催する。 ○区民歩こう会: 春2回、秋1回開催する。 ○わいわいスポーツ教室: 年6回開催する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
成果指標名(1)		各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数			算定式・指標の説明等		生涯スポーツ振興事業11事業の延参加者数									
成果指標名(2)		各種事業ボランティア等人数			算定式・指標の説明等		生涯スポーツ振興事業10事業の実行委員・ボランティアの延人数									
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	回	47	45	48	46	50	46	108.7					
	活動指標(2)		2	件	36	37	35	35	36	37	102.9					
	成果指標(1)		3	人	2,390	2,533	3,635	5,600	4,906	3,000	87.6					
	成果指標(2)		4	人	946	543	388	463	822	558	177.5					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	39,615	37,578	33,119	35,126	31,727	28,419	25年度予算執行率(%)		90.3			
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 成果指標(1)の生涯スポーツ振興事業11事業は以下のとおり。 ①スポーツ推進委員地域拠点活動 ②綱引き大会 ③キンボール交流大会 ④子どもの体力アップ ⑤中学校対抗駅伝大会 ⑥すぎなみ名物ファミリー駅伝大会 ⑦区民歩こう会 ⑧わいわいスポーツ教室 ⑨スポーツ交流事業 ⑩スポーツ栄誉章 ⑪スポーツ祭東京2013事業 ⑫以外の10事業は実行委員会やボランティアを募り区民参画により事業を実施しているため、その人数を「成果指標(2)」としている。 ⑬スポーツ祭東京2013事業は平成25年度で事業が終了したため、活動指標(1)・成果指標(1)(2)の平成26年度計画(目標値)は減少している。					
	(内) 委託費		7	千円	7,581	8,351	7,462	7,574	6,718	750						
	職員数	常勤職員数		8	人	4.57	4.65	5.06	4.65	4.97						4.65
		再任用職員数		9	人	1.10		0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数		10	人	1.10		1.00	1.00	1.00						1.00
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	40,673	40,455	44,022	40,130	42,891						40,130
		(内) 再任用職員分		12	千円	3,388		0	0	0						0
		(内) 非常勤職員分		13	千円	3,388		2,750	2,750	2,780						2,780
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	83,676	80,783	79,891	78,036	77,398	71,329						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	1,780,340	1,795,178	1,664,396	1,696,435	1,547,960	1,550,630						
	財源	受益者負担分		16	千円	1,370	600	498	600	900						500
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等		18	千円	60	31	908	3,978	3,895						31
その他の補助金等		19	千円	750	12,918	10,230	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,180	13,549	11,636	4,578	4,795	531							
差引: 一般財源(14-20)		21	千円	81,496	67,234	68,255	73,458	72,603	70,798							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	1.6	0.7	0.6	0.8	1.2	0.7							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 532

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		体育団体活動の奨励(スポーツ祭東京2013、各種体育団体の活動助成)	33	事業	10,118
		交流自治体とのスポーツ交流(中学生軟式野球、バレーボール)	221	人	8,552
		中学校対抗駅伝	404	人	7,065
		スポーツ推進委員	34	人	3,673
		その他(区民歩こう会、わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章)			2,319
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	区民や団体、スポーツ推進委員等の参画により、スポーツ振興事業を実施しています。スポーツ祭東京2013・国民体育大会のデモンストレーションとしてのスポーツ行事「ラジオ体操」「ガーデンゴルフ」、全国障害者スポーツ大会オープン競技「ユニカール」を開催し、延べ2,556人が参加しました。中学生東京駅伝は降雪のため、ファミリー駅伝大会は雨天のため中止でした。体育団体等に対し、共催事業36件、後援事業115件の活動助成を行いました。中学生軟式野球及び、家庭婦人バレーボールで交流自治体との交流を深めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	【区民意向調査】 (5年前との比較) 健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 H20:84.7% H25:85.9% ボランティア活動について、「活動してみたいと思う」人の割合 H20:48.3% H25:45.7% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H20:22.5% H25:22.3%
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の東京開催に伴い杉並区で行った「ラジオ体操」「ガーデンゴルフ」には他区市から、「ユニカール」には他県からも参加がありました。「スポーツ祭東京2013」の開催に際しては、東京都全域での数年前からの気運醸成もあり、多くの実行委員やボランティアとして区民の参画があり、成功の一端を担うことができました。「交流自治体中学生親善野球大会」は、中学2年生による選抜チームというやり方が定着してきており、「中学2年生になったら、台湾に行くことができる」という杉並の少年野球の将来目標になりつつあります。また、他の交流自治体からも参加意向が出ており、交流の輪が広がっています。
	今後の予測	複数年にわたる「スポーツ祭東京2013」の気運醸成、さらには平成25年9月に2020年オリンピック・パラリンピック東京開催が決定したことで、スポーツに対する関心がより高まることが予想されます。特に、東京マラソンや、ロンドンオリンピックにおけるスポーツボランティアの重要性にも注目が集まっていることから、ボランティア活動への意識も高まることが予想されます。平成25年9月に、杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定し、プラン推進と合わせて、スポーツによる地域づくりを目指し、区民参画の取組みをさらに充実し、スポーツ・運動への気運を高めます。
評価と課題	各種事業参加者数は、4,906人と増加し、各種事業ボランティア等人数は、822人と増加しました。いずれも、スポーツ祭東京2013の影響によるものですが、2020年オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、スポーツ・運動への区民参加・参画が増えるよう、引き続き工夫を重ねる事が課題です。また、スポーツ基本法施行により、連絡調整の役割が加わったスポーツ推進委員については、より地域に密着した活動・役割を担うよう見直し検討を継続します。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input checked="" type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
平成22年度から、(財)杉並区スポーツ振興財団との役割分担について、協議を重ねてきました。平成24年4月から公益財団法人となり、これまで以上に公益性の高い事業を、独自のノウハウやネットワークを活用してより効果的に実施することを目指し、生涯スポーツ振興事業の一部について、相互連携し、段階的に移行します。 スポーツ推進委員は、「親子で体力アップ」事業の定例化や、小学生の健康相談業務への従事を継続しており、従来の活動に加えて、子どもの体力づくりに引き続き取り組みました。地域拠点活動については、より住民ニーズに即した取組みを行うため、あり方検討を継続し、健康スポーツライフ杉並プランにおける「無関心タイプ」、「実行間近タイプ」に対する地域に密着した取組みを進めます。						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	7	項	6	目	1	事業	2	整理番号	533	
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課				係名	施設管理係			連絡先電話番号	1676	昨年度整理番号	534			
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり				予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	5	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団				内部管理		根拠法令等							
							施設維持管理		(1) 社会教育法第3, 5条 (2) スポーツ基本法第34条							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。				活動指標名(式)		(1) 教室系事業の開催数 (2) 教室系事業の種目数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、スポーツ振興に関する事業を実施するに当たり、必要な経費を助成する。 ○「各種スポーツ教室」、「区民体育祭やスポーツレクリエーション大会等スポーツ普及事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ団体・民間事業者とのタイアップ事業」、「スポーツ振興のための普及啓もう事業」等を実施。				成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
						成果指標名(1)		各種教室参加者数								
						算定式・指標の説明等		教室系事業の延参加者数								
						成果指標名(2)		区民体育祭等参加者数								
						算定式・指標の説明等		大会系事業の延参加者数								
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	教室	215	233	186	202	183	230	90.6						
	活動指標(2)	2	種目	53	72	98	110	107	96	97.3						
	成果指標(1)	3	人	52,567	69,087	74,913	105,737	79,332	80,000	75.0						
	成果指標(2)	4	人	34,768	30,186	33,479	35,082	38,494	37,000	109.7						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	72,427	73,577	67,897	70,974	64,439	78,560	25年度予算執行率(%)		90.8				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.60	0.50	0.36	0.34	0.30	0.30						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	5,340	4,350	3,132	2,934	2,589	2,589						
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	77,767	77,927	71,029	73,908	67,028	81,149							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	361,707	334,451	381,876	365,881	366,273	352,822							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	77,767	77,927	71,029	73,908	67,028	81,149							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 533

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		運営等補助金		1	団体	64,439
		その他()				0
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、補助金を支出しました。					

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○区民意向調査において、取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合は、平成18年度19.3%から平成25年度は22.3%となりました。</p> <p>○平成18年度に指定管理者制度を導入し、補助金のうち、施設の管理運営にかかる経費を別途支出することとしました。</p> <p>○平成24年4月から、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公益財団法人に移行して2年目の平成25年度は、より公益性の高い事業やサービスを提供するため、障害者向けの水泳教室、ユニカール、バスケットボールなどのスポーツ教室の実施のほか、児童が放課後自由にスポーツを楽しめる放課後チャレンジスポーツ教室、学校・児童館へのスポーツ専門家派遣事業、未就学児を対象とした体操教室などの拡充を図りました。各種教室参加者数は平成24年度と比較し、約5,000人増となり、区民のスポーツ活動の促進に貢献しました。
	今後の予測	社会における運動・スポーツの必要性が高まる中で、子供、女性、男性、高齢者、障害者など対象のニーズに応じたの事業提供を行うとともに、平成25年9月に、杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定し、プラン推進と合わせて、スポーツによる地域づくりを目指し、区民参画の取組みをさらに充実し、スポーツ・運動への気運を高めます。公益法人としてより公共性の高い事業やサービスを提供していくことが求められます。
評価と課題	平成24年4月から公益財団法人となったことに伴い、これまで以上に公益性の高い事業やサービスを行うことが求められています。平成25年度策定のスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」の実施主体として、スポーツアカデミーなど、区との役割分担を明確にしながら重点事業を実施していくとともに、民間スポーツ事業者と異なる視点から地域スポーツ団体を育成するなど、区民全体のスポーツ振興を担っていく必要があります。	

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	公益法人としてのスポーツ振興財団の果たす役割を明確にし、より公益的なスポーツ振興事業を担っていく必要があります。平成25年度策定のスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」に基づき、教育委員会とともにスポーツアカデミーの運営等を実施するなど、生涯にわたり区民が自主的・継続的にスポーツに親しむことができるよう取り組みます。また、財団の今後のあり方も併せて検討していきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	(仮称)スポーツ推進計画			款	7	項	6	目	1	事業	3	整理番号	534	
担当部課名	教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	施設管理係			連絡先電話番号	1676			昨年度整理番号	535	
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標	5	施策	29	計画事業	1	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)
	対象	区民スポーツ関係団体			内部管理		根拠法令等	(1)	スポーツ基本法第9条					
					施設維持管理		(2)							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>○区民誰もがスポーツ・運動に親しみ、健康な生活が送れるように、スポーツ・運動を通して、人と人がつながり地域社会における信頼関係を育めるよう、(仮称)スポーツ推進計画を策定するとともに、計画の普及・啓発を行う。</p>						活動指標名(式)	<p>(1) (仮称)スポーツ推進計画策定委員会の開催(26年度からは推進懇談会)</p> <p>(2)</p>					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○策定委員会、区民等の意見提出手続の結果等を踏まえ、平成25年9月にスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定した。</p> <p>○2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したことと合わせ、計画が区民に普及するよう、シンポジウム(9月)・イベントの開催(11月)などを行った。</p>						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
							成果指標名(1)	(代)成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率						
							算定式・指標の説明等	区民意向調査による						
							成果指標名(2)							
							算定式・指標の説明等							
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	回		7	7	2	2	2	100.0				
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3	%		38.5	39.7	40.0	41.1	40.0	102.8				
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	0	4,276	3,312	2,542	2,076	4,807	25年度予算執行率(%)	81.7			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0				特記事項				
	(内)委託費	7	千円	0	3,160	2,536	670	615	3,825	○24年度は、区民アンケートなど策定にあたっての事業費であったが、25年度は計画の普及啓発イベント等の事業費である。				
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	1.32	1.31	1.37	1.06			0.50		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00		
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	0	11,484	11,397	11,823	9,148	4,315	○11月の普及イベントは、より多くの区民が立ち寄ることが見込まれる「すぎなみまつり」での開催とすることで、啓発経費を削減することができた。			
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0					
		(内)非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	0	15,760	14,709	14,365	11,224	9,122					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円		2,251,429	2,101,286	7,182,500	5,612,000	4,561,000					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	15,760	14,709	14,365	11,224	9,122					
受益者負担比率(16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 534

25年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組	計画本編(1500冊)・概要版(20,000冊)の印刷				991
	計画の普及啓発				733
	計画策定委員会の開催	2	回		185
	その他()				167
(2)事業実績(協働、行革の取組があれば記入)	平成24年7月から計9回の策定委員会の開催、区民アンケート(24年度実施)結果や関係団体の意見、さらには区民等の意見提出手続の結果等を踏まえ、平成25年9月にスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定しました。また、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したことと合わせ、計画が区民に普及するよう、シンポジウム(9月)・イベントの開催(11月)などを行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基本構想・総合計画及び教育ビジョン2012に基づき、平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に定める地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画(地方スポーツ推進計画)を策定することとされています。また、区民の健康意識の高まりとともに、平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したこともあり、今後区民にスポーツ・運動を行う気運が高まっていくことを期待しています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	25年6～7月の区民等の意見提出手続の結果等では、全体的には肯定的で、ぜひ計画を実現してほしいとの声が多く寄せられました。特に、地元のトップアスリートと連携した事業の展開、誰もが参加しやすいようなスポーツ・運動機会の充実、指導者の養成、民間施設の活用も含めた体育施設の整備などに意見が多く寄せられました。			
	今後の予測	26年度には、スポーツ推進計画推進懇談会を開催するとともに、関係部署が連携し、計画を着実に推進していくためのしきみを整えていきます。そして、(仮称)スポーツアカデミーやスポーツはじめキャンペーンなど、計画の重点となる事業を立ち上げ、計画を着実に推進していきます。			
評価と課題	区民の健康意識の高まり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催など、より多くの区民がスポーツ・運動に関心を寄せており、本計画を展開する環境が整っています。そこで、地域の関係団体、関係部署と連携し推進のためのしきみを整えるとともに、計画の実施主体である公益財団法人杉並区スポーツ振興財団と(仮称)スポーツアカデミー事業など重点となる事業を連携して立ち上げ、計画を着実に推進していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	より多くの区民が自主的・継続的にスポーツ・運動に親しむことで健康づくりができ、スポーツ・運動をきっかけに地域における信頼関係が育まれることを目指します。さらに、計画を着実に推進していくため推進のための懇談会を設け、計画の進行管理や評価を行うとともに、計画に基づき必要に応じ計画の見直し・改善を行っていきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	体育施設の維持管理			款	7	項	6	目	2	事業	1	整理番号	535		
担当部課名	教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	施設管理係			連絡先電話番号	1677		昨年度整理番号	536			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	30	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/>	計画事業		<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	施設利用者(区民、団体等)			内部管理		施設維持管理		1	根拠法令等	(1) 社会教育法第3, 5条 (2) スポーツ基本法第12条				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。							活動指標名(式)	(1) 延利用者数 (2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○指定管理者制度導入施設: 下高井戸運動場、上井草スポーツセンター、高井戸温水プール、高円寺体育館、妙正寺体育館、永福体育館、荻窪体育館</p> <p>○業務委託施設: 大宮前体育館、松ノ木運動場、杉並第十小学校温水プール、和田堀公園プール、阿佐谷けやき公園プール、(暫定)富士見ヶ丘運動場、(暫定)久我山運動場、(暫定)遊び場106番運動場</p> <p>○公園施設: 馬橋公園運動広場ほか3施設</p>							成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
	成果指標名(1)														
	算定式・指標の説明等														
	成果指標名(2)														
	算定式・指標の説明等														
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	人	1,332,231	1,420,000	1,521,639	1,550,000	1,520,753	1,550,000	98.1					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	671,060	810,102	782,404	782,565	762,936	950,418	25年度予算執行率(%)	97.5				
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	47,409	5,465	4,988	23,385	特記事項					
	(内) 委託費	7	千円	589,149	695,263	678,690	662,422	655,825	825,360						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.43	2.21	2.36	2.17	2.76	2.00	◇大宮前体育館(新) ◆平成25年12月より開設前準備期間における業務委託契約、光熱水費等を支出した。 ◆移転改築工事の終了に伴い、平成26年4月1日より大宮前体育館がリニューアルオープン。指定管理者制度を導入しての運営を行うこととし、26年度から指定管理料を事業費に見込んだ。 ◇大宮前体育館(旧) 業務委託施設として運営していたが、平成26年3月31日をもって閉館。 ◇妙正寺体育館 改築工事に伴い、平成26年3月31日から平成28年秋頃まで休館予定。 ◇上井草スポーツセンター 指定管理者より収益還元(平成24年度分)あり。				
		再任用職員数	9	人	0.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人		0.90	0.90	0.90	0.80	0.80					
	人件費	(内) 常勤職員分	11	千円	21,627	19,227	20,532	18,727	23,819	17,260					
		(内) 再任用職員分	12	千円	2,772	0	0	0	0	0					
		(内) 非常勤職員分	13	千円		2,475	2,475	2,502	2,224	2,224					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	695,459	831,804	805,411	803,794	788,979	969,902						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	522	586	498	515	516	611						
	財源	受益者負担分	16	千円	75,083	77,728	84,664	80,887	91,680	81,549					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	75,083	77,728	84,664	80,887	91,680	81,549						
差引: 一般財源(14-20)	21	千円	620,376	754,076	720,747	722,907	697,299	888,353							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	10.8	9.3	10.5	10.1	11.6	8.4							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 535

25年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		管理運営(指定管理者)高円寺体育館ほか4施設	5	施設	142,141
		管理運営(指定管理者)上井草スポーツセンター	1	施設	165,568
		管理運営(指定管理者)高井戸温水プール	1	施設	90,566
		杉並第十小学校温水プール管理業務委託等	1	施設	121,827
		その他(維持管理経費、業務委託費等)			242,834
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	10月14日体育の日には10施設でイベントを開催し、延べ17,953名が来場しました。 大宮前体育館(新・南荻窪2-1-1)は、公募型プロポーザル方式により、移転改築工事終了後に運営を行う指定管理者の選定を行いました。また、大宮前体育館(旧・宮前2-11-11)は平成26年3月31日をもって閉館しました。 妙正寺体育館は改築工事に伴い、平成26年3月31日から平成28年秋頃まで休館いたします。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	0
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	0
	今後の予測	
	評価と課題	体育施設の指定管理者は4事業者となり、指定管理者がよりよいサービスを競い合えるようになるとともに、公共サービスの担い手としてふさわしいか、より客観的な評価をしていく必要があります。また、利用者が利用しやすいよう、26年10月に予約システムを改修、登録手続きなどを見直すとともに、27年1月からは受益者負担と施設の効率的な運営の視点から使用料の見直します。利用者への周知徹底と、利用しやすい環境整備を図る必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡充	○ 現状維持	○ 縮小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 536

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改築工事			1,913,378
		工事監理業務委託			29,420
		初度調弁			59,424
		落成式			864
		その他(事務費等)			1,059
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	老朽化した大宮前体育館を、より一層の地域コミュニティの充実を目指し、幼児から高齢者まで誰もが利用できる温水プールを併設した体育館として、荻窪小学校跡地に移転改築しました。また、平成26年3月24日には落成式を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基本構想策定後、資質評価型プロポーザル方式により設計者を選定し、基本設計・実施設計を行いました。併せて、基本設計、校舎解体等の住民説明を行うとともに、移転改築用地測量、移転改築用地地盤調査、土質調査、既存建物アスベスト調査を行いました。また、建物の地下化に伴う建設経費の精査のため、平成22年度の建設工事は延期しましたが、平成23年12月に建設工事に着工し、平成25年12月に工事が竣工しました。 指定管理者により施設の管理運営を行うため、公募により業者を選定し平成26年度からの供用開始準備を行いました。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民懇談会報告書により、地域のスポーツの拠点として充実した機能を有するとともに、高齢者の健康増進や地域コミュニティの核としての役割を担う施設の建設が求められています。		
	今後の予測	地域のスポーツの拠点として、指定管理者の行う教室等の充実が求められています。また、コミュニティー施設としての役割のほかに、地域の防災に寄与する施設としても期待されています。		
評価と課題	充実した機能を有する地域スポーツの拠点として、平成25年度に工事が竣工しました。今後、スポーツ活動に関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指していきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
特になし						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		妙正寺体育館の改築			款	7	項	6	目	3	事業	3	整理番号	537		
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	施設管理係			連絡先電話番号	1677			昨年度整理番号	539		
上位施策No・施策名		29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり			予算事業区分			投資事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		5	施策	29	計画事業	2	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	施設利用者(区民、団体等)			内部管理				根拠法令等	(1) スポーツ基本法第12条 (2) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								活動指標名(式)							
	妙正寺体育館を改築する。								(1) 基本設計進捗率 (2) 実施設計進捗率							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
○平成24年度に基本方針の策定、地盤調査・測量、基本設計を行う。 ○平成25年度に実施設計を行う。 ○平成26年度は解体工事・遺跡調査を行い、建設工事に着手する。 ○平成28年度、竣工・供用開始。								成果指標名(1) (代)基本設計進捗率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) (代)実施設計進捗率 算定式・指標の説明等 25年度以降着手予定								
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	%		100	100										
	活動指標(2)	2	%				100	100		100.0						
	成果指標(1)	3	%		100	100										
	成果指標(2)	4	%				100	100		100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	0	19,603	11,820	30,960	30,714	433,028	25年度予算執行率(%)		99.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	18,503	11,820	30,960	30,714	432,428	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	0	18,503	11,820	30,960	30,714	432,428							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.20	0.26	0.10					0.10		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.40	1.00	1.00					1.00		
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00					0.00		
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	0	0	1,740	2,244	863					863		
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	1,572	3,860	3,860					3,860		
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0					0		
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	0	19,603	15,132	37,064	35,437	437,751							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円		11,000	33,120										
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0					0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	19,603	15,132	37,064	35,437	437,751							
受益者負担比率(16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 537

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		実施設計委託			29,190
		敷地測量調査委託			1,281
		地盤調査委託			
		その他(設計事務費等)			243
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	老朽化した妙正寺体育館を改築するため、実施設計に着手するなど、地域のスポーツの拠点となる体育館の建設に取り組みました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	改築を行う敷地の測量調査・登記及び地盤調査を行いました。 基本計画、基本設計に関する住民説明会をそれぞれ開催し、近隣との調整を図りました。また、25年度には基本設計に基づき実施設計に取り組みました。			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在の良好な生活環境が確保される改築が求められています。 改築に合わせて施設機能の充実を図り、地域のスポーツの拠点として、高齢者の健康増進や子どもたちの体力向上の場としての役割を担う施設の建設が求められています。			
	今後の予測	地域のスポーツの拠点として、教室等事業の充実が求められています。			
評価と課題		妙正寺体育館の改築計画作成にあたっては、住民説明会や個別の説明等で住民の意見を聞きながら、計画を策定しました。今後、建設工事に向けて、丁寧な説明と近隣との合意形成に取り組んでいきます。			

改善・見直しの方向 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現 状 維 持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> そ の 他
	II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
改善・見直しの方向 (中長期)					